

特集 "大雄の家"

秋田県横手市大雄に計画中のプロジェクトです。

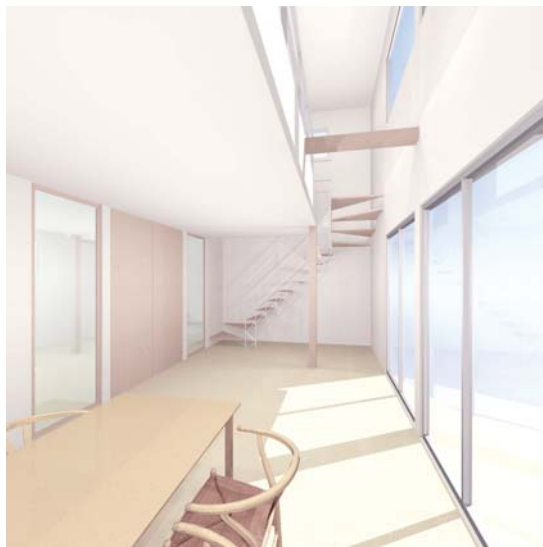
周辺は雄大な風景が広がる田園地帯で、住宅からは遙か遠方の山々まで見渡せます。このように良好な環境を暮らしの中に取り入れるべく、住宅を風景に対して 45°の位置に振れさせ、最大限の眺望を取り入れることにしました。

都市部とは異なり、周辺に住宅が建て込んでいる状況ではありませんので、外部からの視線もほとんど気にならず、比較的外部にも開放されたプランニングとしています。

ゆったりとした生活を楽しむため、1階のLDKの開放感や6帖の和室とのつながり、2階バルコニーのあり方等も重要視しています。

外観は、L字型の平面に対して2つのボリュームを設定し、大きく張り出した庇や構造を兼ねる化粧垂木を配置し、パッシブハウスを連想させるデザインとしました。

パブリックな空間とともに、個室空間の充実や将来必要になるスペースも確保し、長く愛される住宅であることを願っています。現地の雪解けを待って、着工予定です。



外観。敷地に対して約45°に配置し、風景に対して開いています。分節されたL字型のボリュームが、デッキを囲い込みます。大きく張り出した庇と、化粧垂木が外観上の特徴にもなります。

リビングからダイニング・キッチン方向を見る。デッキのある南側開口部からは、風景と共にたくさんの陽も入ります。右は2階吹き抜け。それほど大きな吹き抜けではありませんがデッキのある開口部の上部で、有効に作用します。

スタッフの日常・非日常 vol.34



冬の間工事をしていた住宅がめでたく竣工になりました。宅地造成されたばかりの場所で、工事前下見では周りに何もなかったのに、真冬にもかかわらず徐々に工事が始まりだして、ついには住宅が建ち並ぶエリアになりました。しかし北側は未開発で、一面田んぼ。2階のフリースペースの窓から切り取られたパースペクティブがなかなかいい感じです。



キッチンに鎮座するのはパナソニック「リビングステーション」。アイランド型でカッコいいです。新仕様のトリプルHは使いやすそう。天板も広いし、収納もたくさん付いているし、料理が楽しそうです。あ、決してパナソニックの宣伝ではないです。とういかわるソニーっ子です。ソニーLOVE。

今月のマテリアル



耐震金物コボット

木造に必要な「筋かい」という部材は四隅に設置していれば理想的ですが、窓がある部分には基本的に設置できません。「ここを窓にしたいけれど、筋かいも必要なんだよなあ」という時は、はめ殺し窓にして、このコボットを設置します。細い鉄の棒は木の筋かいよりも目立たず眺めが損なわれません。耐震性能も品質試験によりしっかり保証されていて安心です。



編集後記

みなさん、こんにちは。3月も中旬ですね。2月は前半こそ厳しい寒さでしたが、中旬以降は暖かき日も多く、あれだけ積もっていた雪も一気に融け、春を感じさせる日が続きました。このまま春になるのかと思いきや、そうもいかないみたいですね。

今は9日夜、東京から仙台へ向かう新幹線の中で書いてます。朝、仙台から東京に来て、丸一日リフォームセミナーを受講しました。お昼前、大きな地震がありましたね。ビルの11階にいたのですが、長周期の揺れが長い時間続きました。建物の変形が伝わって来るような感覚でした。宮城で震度5弱・・・仙台オフィス大丈夫かな・・・沸りの新幹線動かな・・・かなり心配になりましたが、あまり大事には至らなかったようで、よかったです。ニュージランドではとても残念な事に、建築の崩壊で大きな被害が出てしまいました。建築に関わる私達にとっても重く受け止めるべきことです。昨日のセミナーにもあったのですが、「デザイン」も大切ですが「構造」はたとえ木造の住宅であっても建築の基本として、慎重に検討されなければならない性能です。

今日も寒そうですね。3月のニュースレターの頃には暖かくなっていますように。それでは次回もお楽しみに。

お知らせ



□山形県山形市で建築家展に参加します。
ASJ 山形スタジオ
第10回未来をのぞく住宅展
山形ビッグウイング2F・交流サロン
3/19(土) 10:30~17:00 入場無料
3/20(日) 10:30~17:00 入場無料
今回は、第10回の記念イベントで先着50組様に粗品プレゼントがあるそうです。
開催地、およびその近郊の方、是非お出でいただき、お声を掛けてください。
詳しくはこちらをご覧ください。

セミナー聴講



新住協セミナーを聴講しました。

去る2月26日、仙台市にて新住協主催の断熱改修・耐震改修のセミナーを受講しました。既存の住宅のリフォーム時期に合わせ、暖か及安全な住宅に替える技術について勉強させていただきました。内部・外部のデザイン改修と合わせ、必要になる重要な視点ではないかと思えます。また、時期や条件もありますが、国土省の補助金についての説明もありました。ご関心をお持ちの方は、どうぞお問合せ下さい。

Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談



ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所

TEL. 022-739-8931 018-831-4315
FAX. 022-739-8932 018-831-4316
HP. <http://www.issei-design.com/>
BLOG. <http://www.issei-design.com/blog/>
MAIL. info@issei-design.com



今月の加藤一成
すいません、写真が無くて・・・
弘前市で進行中のマンションリフォーム現場。
今後の業務の方向性として、大きな可能性を感じます。